

日本の安全安心考えます!

# セキュリティ研究 111

February  
2008

特集 エコプロダクツ2007・'07 国際画像機器展  
TRONSHOW 2008

しあわせ通信 アウトドアとは、愛の扉を開くこと

株式会社 自然樂校 清水國明



企業戦略 株式会社 クマヒラ  
注目の企業紹介 株式会社 ワイズ・コーポレーション  
巻末特集 SECURITY BUSINESS INFORMATION



# 音声情報の“施錠”とは？

特定非営利活動法人 **日本情報安全管理協会**  
理事 長谷川 稔

## 情報流出の脅威

2007年、海外での情報流出による事後対策経費は、流出原因の調査費やセキュリティ対策費等、2005年と比較し43%も増加しているという。これは、企業にとって大きな負担となるだけでなく、信用問題等の様々な局面に影響を及ぼすことが考えられ、情報流出事故の件数及び規模の深刻さが見て取ることができ、我が国においても対岸の火事では済まされないと弊協会では考えている。

一般家庭の防犯対策を例にとってみると、昨今ではドアや窓等侵入可能な箇所毎に複数の鍵を用い、ガラスの様な容易に破壊が可能な箇所については、飛散防止用フィルムへの貼付、更にはホームセキュリティシステムの普及など、侵入盗による被害を抑制すべく、個人における防犯意識向上の表れと見て取ることができる。

至極当然のことであるが、施錠した上での侵入被害と未施錠での被害では歴然たる差があり、後者であればおそらく施錠を忘れてしまった者への非難は避けられないであろう。これらのことは法人各企業においても同様で、盗難・物損の有無を問わず、施錠管理者の責任は避けることができない。

## 情報の種別とその管理

情報という無形資産を考えた場合はどうだろうか。

「情報」を大別すると、「電子媒体に記録された情報」と「紙媒体に記録された情報」、及び「会議や打ち合わせなどの音声情報」に分類できる。

「電子媒体に記録された情報」の管理については、ウィルス対策ソフトやスパイウェア対策ソフトの運用、ファイアウォールの設定は必要最低条件として広く認識されている。また、フロッピディスクやCD-ROM、USBメモリ等の記録媒体も、使用制限や複製及び移動の禁止措置が採られ、ネットワーク上においてもアクセス制限や記録を残すなど、電子情報の利用者管理は各企業においてかなり浸透してきている。

「紙媒体に記録された情報」の管理においては、記載文章の重要度により、利用者の制限は当然ながら、書面の複製も判別可能な様に、文字や模様の隠し印刷を施すだけでなく、最近ではICタグを利用して、利用者制限下にある書面の閲覧記録を作成し時系列での管理もされている。

これらの電子媒体や紙媒体による情報は、収集から利用・保管・廃棄に至るまで、統合情報管理が成されつつある。



### 音声情報管理の“施錠”

「音声情報」の管理は、人的管理だけに留まるところが多く見受けられるが、はたして充分なのだろうか。悪意の第三者が能動的に情報収集装置を会議室などに設置、音声情報を窃取した場合を想定し、定期的に通信傍受対策を実施している企業は、残念ながら少数であると考えざるを得ない。

昨年、弊協会が実施したアンケート結果（本誌2008年1月号掲載）では、多くの企業で通信傍受対策が必要であるとの回答が得られており、通信傍受対策（音声情報管理）に対する認識が高まりつつあるが、情報収集装置や対策に関する諸情報も乏しい為、各企業は手を拱いているのが、実情である。

情報は、無形であるがゆえに流出してしまった場合、流出源や流出経路などの特定が非常に困難であるばかりか、対策の迅速性も求められ情報流出事故の調査に膨大な経費を費やしてしまう。ことさら音声情報に関しては、他の記録情報と比較しても現在進行形の最新情報となる為、収集された記録情報の評価や分析での利用価値は非常に高く、その管理は重要である。

もしここで、音声情報管理の一端である通信傍受対策がなされていない状態で情報が流出した場合、情報

流出事故ではなく、必然の情報流出という判断となり、未施錠状態での不正侵入被害と同様の管理責任を内外から問われることは必至であり、事業回復に要する経費や期間は、事前対策のそれをはるかに上回ることは容易に想像できる。

この様に情報流出事故を未然に防止することにより、「市民生活の安心と安全」ならびに「企業活動の安心と安全」に寄与すべく、弊協会では情報管理の啓蒙・啓発活動を通し、社会貢献に一層の努力をしていく所存である。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : [jilcom@aioros.ocn.ne.jp](mailto:jilcom@aioros.ocn.ne.jp)